

胃カメラ検査で全身麻酔がないと...というあなたへ

「えっ、もう終わったの？」 部分麻酔で“とってもラク”な鼻から胃カメラ検査



胃の検査、まずは鼻から！

ちょっとした不調、放っていませんか？「なんとなく胃が重い」「胸やけが気になる」—そんなサインは、体からの小さなSOSかもしれません。鼻から入れる**経鼻内視鏡**は、口からの検査より「オエッ」となりにくく、多くの方が「思ったよりラクだった」と実感されています。検査前には鼻と喉に**部分麻酔（局所麻酔）**を施すため、痛みや不快感も軽減され、安心して受けていただけます。

「一度つらい思いをして胃カメラが苦手になった」という方にも、ぜひ試していただきたい検査です。

当施設での鼻から入れる胃カメラ検査・5つの特徴！

医師に不安を伝えられる！
同じ画像を見ながら話せる！

話せる・見える

麻酔事故の
リスクが少ない

検査後すぐに
帰宅が可能！

大学病院の医師

技術のすぐれた医師が
検査します！
*当施設では担当の多くの
医師が内視鏡専門医の資格
を持っています。

苦痛が
少ない

直径5.8mm（鉛筆より細い！）の
細くしなやかなスコープ！
*当施設では経口胃カメラにも同
じ径のカメラを使用しています。

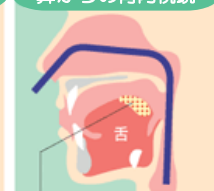
嘔吐反射が
起きにくい

口からの胃内視鏡



この部分にスコープが触れると、
吐き気を感じます。

鼻からの胃内視鏡



この部分に、スコープは
触れません。

なぜ鎮静麻酔を行わないの？鎮静ありのデメリット

・覚醒後の不快感やぼんやり感 ・副作用のリスク ・呼吸や血圧の低下 ・運転や仕事に支障が出る



このようなデメリットが生じるため、医師や看護師による監視が必要となっています。

経鼻カメラを楽にうけるために必要なこと

- ・リラックスする
- ・麻酔が効くまで待つ
- ・鼻を清潔にしておく
- ・上手に息を吸う
- ・事前に不安を伝える
- ・体調を整える

当施設のスタッフが、これらをサポートし、苦しみや不安に最大限配慮し、あなたの胃カメラ検査に寄り添います。

実際に当施設で胃カメラを受けられたお客様から

『部分麻酔なんて嫌だと思っていたけど、思ったより楽だった』『看護師さんが優しく』
とのお声をいただいております。

鼻腔が狭いなどの理由で、経鼻カメラから経口カメラに切り替えることもあります。十分に麻酔をしますのでご心配いりません。

是非一度、当施設の胃カメラ検査をご受診ください。

